

今週のビルマのニュース
2010年4月16日【1015号】

ヤンゴンで爆弾が爆発、多数が死傷

・最大都市ラングーン（ヤンゴン）で15日、新年を迎え祝う「水かけ祭り」会場で爆弾が数回連続して爆発し、国営メディアによれば8人が死亡し94人がけがをした。死者数を9人とする病院関係者もいる。国営メディアはテロリストによる犯行だとしたが、具体的な容疑者名などは出していない。犯行声明なども出ていない。ビルマでは過去数年に数回の爆弾事件が起きているが、今回の事件による死傷者数は、2005年5月にラングーンで起きた爆弾事件（死者19人、けが人約160人）に次ぐ多さ（16日APほか）。

米国、対話路線を見直す可能性を示唆

・キャンベル国務次官補は15日、ワシントンDCでの会合で、「米国が[ビルマとの対話という]プロセスを続けていくには、ビルマ政府側が[政治改革に向けて]何らかの行動を取る必要がある」と述べ、民主化改革が進まなければビルマに対する関与政策を見直す可能性があることを示した（15日AFP）。

獄中のブロガーに「言論の自由」賞 米ペンクラブ

・米国ペンクラブは14日、政治囚として収容されているネーポーンラット氏に2010年の「言論の自由」賞を授与すると発表した。国民民主連盟（NLD）の党员でもある氏は詩人・ブロガーで、2007年秋の民主化運動に対する弾圧について国内から情報を発信していた。2008年1月に逮捕された後、禁固12年の有罪判決を受け、現在はカレン州バアンの刑務所に収容されている（14日、米国ペンクラブ発表）。

アウンサンスーチー氏、病院で心臓の検査

・政府関係者によれば、自宅軟禁されている民主化運動指導者アウンサンスーチー氏が11日、ヤンゴン総合病院で心臓の検査を受けた。入院はせず同日自宅に戻った。詳細は不明（11日AFPほか）。

**ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など
新たな発表はなし**

イベント情報

・在日ビルマ人共同行動実行委員会 国連事務総長に対しアウンサンスーチー氏等すべての政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピール行動（国連大学前、12～16日 15～16時）

・ビルマ民主化同盟 ビルマ軍事政権のすすめる2010年総選挙に反対、軍政に対しアウンサンスーチー氏とすべての政治囚の釈放を求める抗議行動（在日ビルマ大使館前、12～16日 15～16時）

・在日ビルマ・ロヒンギャ協会 ビルマ軍政の不正で非民主的な2010年総選挙に反対、アウンサンスーチー氏率いる国民民主連盟を支持するアピール行動（在日ビルマ大使館前、22日 15時～16時）

・「ビルマ選挙法に抗議する緊急行動」（仮称）呼びかけ団体：国民民主連盟（解放地域）日本支部（五反田南公園集合、22日 緊急集会14時～、デモ行進15時～）

・2010年度明治学院大学国際平和研究所 Cinema Cafe 第1回特別先行試写会『ビルマ VJ 消された革命』共催：明治学院大学国際平和研究所、東風。上映後、原作・脚本のヤン・クログスガードによるミニトーク（明治学院大学白金校舎パレットゾーン内、25日 14時～）★抽選 100名。詳細は：
<http://www.meijigakuin.ac.jp/~prime/>

・ロヒンギャ民族集団訴訟（難民不認定処分取消等）最終口頭弁論（東京地裁709号法廷、28日15時～）★日時に変更がありました。

・講演会「ビルマ（ミャンマー）の紛争と資源開発—天然ガス開発の事例から—」ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀（都留文科大、5月14日18時半～）

・アカデミー賞長編ドキュメンタリー部門候補作品「ビルマ VJ 消された革命」5月15日より渋谷・イメージフォーラムで公開。

もっと詳しい情報は

☆Twitter公式アカウントはこちらです
<http://twitter.com/BurmaInfoJapan>

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

<p>お問い合わせ ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀 yuki@burmainfo.org 080-2006-0165</p>
